



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和6年4月22日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、乗用車販売減少の影響等がみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	乗用車販売減少の影響等がみられるものの、緩やかに回復しつつある	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	↘
雇用情勢	持ち直している	緩やかに改善しつつある	↗

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は増益見込み	5年度は増益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超幅が拡大している	「下降」超に転じている	↘
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「乗用車販売減少の影響等がみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、衣料品などが低調であり、前年を下回っている。家電大型専門店販売は、暖房器具などが低調であり、前年を下回っている。スーパー販売は、外出関連用品などが好調であり、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、医薬品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、自動車不正認証取得問題などの影響により普通乗用車、小型自動車、軽自動車いずれも、前年を下回っている。このように、個人消費は、全体では、乗用車販売減少の影響等がみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 暖冬や寒の戻りなどの天候に左右され、衣料品の売行きが低調であった。（百貨店）
- エアコンなどの暖房器具が低調であったほか、節約志向により低価格の商品へのシフトもあり、売上が低調となった。（家電大型専門店）
- 日々購入される食料品は、物価高による消費者の節約志向がみられるものの、価格上昇が売上増加に寄与している。また、お出かけ用のカバンや、入学式、入社式などのハレの日のためのスーツなどが売れている。（スーパー）
- 調剤薬局の併設店舗の増加やインフルエンザの流行などにより、感冒薬などの医薬品が売れている。外出機会の増加により、メイク用品なども好調なほか、売り場面積の拡大や価格上昇が食料品の売上増に寄与している。（ドラッグストア）
- 自動車不正認証取得問題などの影響により、完成車メーカーからの供給が減少し、登録台数が前年を下回っている。（自動車販売）

■ 生産活動 「持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

電気機械は、高い生産水準を維持している。プラスチック製品は、スマートフォン向けの需要に持ち直しの動きがみられることなどから増加している。一方、輸送機械は、生産切替の影響などから減少している。一般機械は、海外設備投資需要の低迷などから減少している。鉄鋼は、自動車不正認証取得問題などの影響により減少している。このように、生産活動は、全体では、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

- 半導体の在庫調整の進展により、高い生産水準が継続する見通しである。（電気機械）
- 海外のスマートフォン市況に底打ち感がみられることなどから、徐々にではあるがスマートフォン向けの生産量が増加している。（プラスチック製品）
- モデル切替の影響や新車種関連の需要の落ち着きなどから、生産量が減少している。（輸送機械）
- 海外の設備投資需要が低迷しており、生産量が減少している。（一般機械）
- 自動車向けの需要自体は堅調なもの、自動車不正認証取得問題などの影響により、一時的に生産量が減少している。（鉄鋼）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。民間職業紹介における求人件数は、増加傾向である。また、企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（6年1-3月期）の従業員数判断 BSI でみると、「不足気味」超幅が拡大している。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 外国人技能実習生は、円安の影響や他国との競合により、能力の高い実習生の確保が難しくなっている。（他輸送機）
- 即戦力となる中途採用に力を入れており、さまざまな求人媒体を利用している。特に、人材紹介会社が主催する就職フェアはマッチング率が高い印象を持っている。（小売）
- 人手不足を背景に企業の人材確保競争が激しくなるなか、来春卒業する大学生などの早期内定化が進んでおり、企業の採用意欲が年々高まっている。（人材派遣・紹介）

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 製造業では、「その他製造」などで減少するものの、「自動車」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「小売」などで減少するものの、「電気・ガス・水道」、「運輸、郵便」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 新型車向けの設備投資を実施。(自動車)
- カーボンニュートラル関連の設備投資を実施。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「5年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 製造業では、「その他輸送機械」などで減益となるものの、「自動車」、「生産用機械」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「建設」などで増益となるものの、「運輸、郵便」、「小売」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超に転じている。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、給与住宅が増加しているものの、分譲住宅、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、鉄鋼などが減少しているものの、船舶、自動車などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、大洋州などで減少しているものの、西欧、アフリカなどで増加している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東欧・ロシア等、北米などで減少している。

広島県内経済情勢報告

(令和6年4月22日)

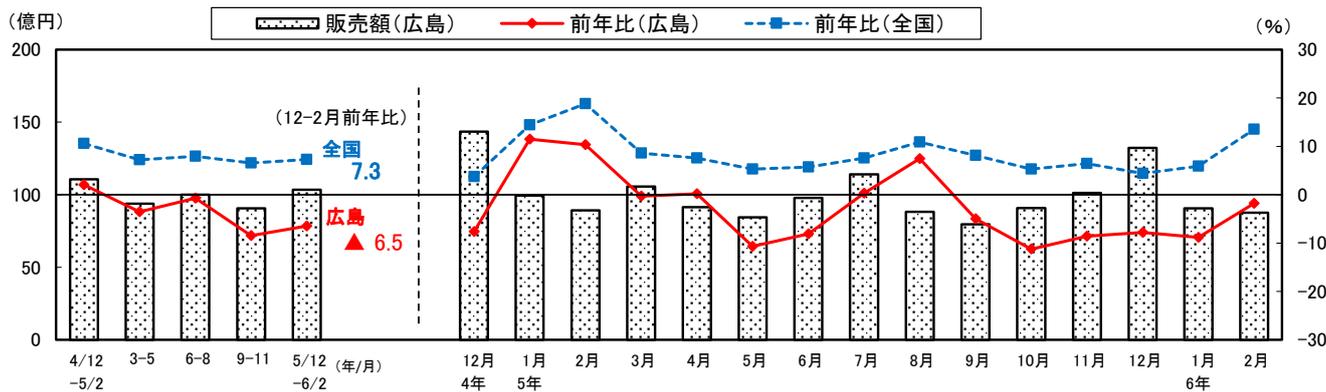
資料編

	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	5
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

1. 個人消費 乗用車販売減少の影響等がみられるものの、緩やかに回復しつつある

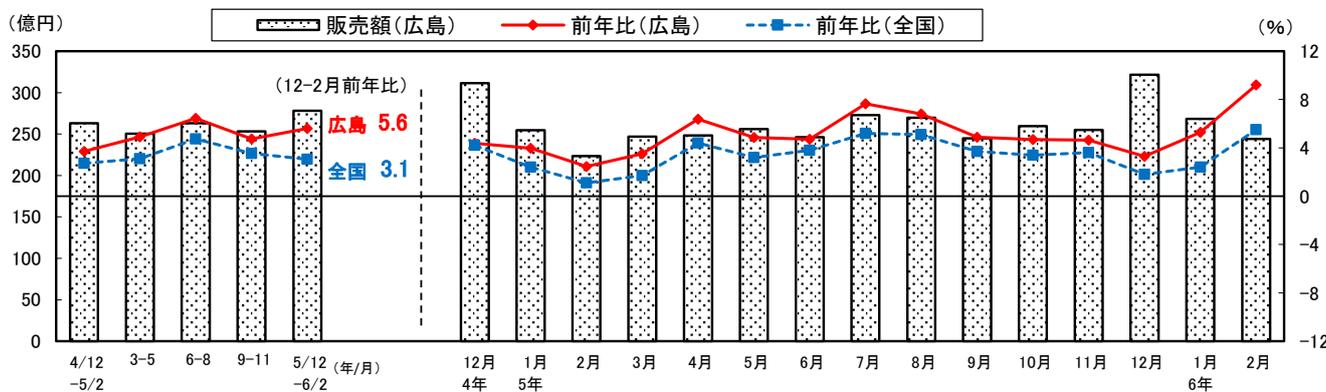
(1) 百貨店販売額(全店舗)

(注) (1)～(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均



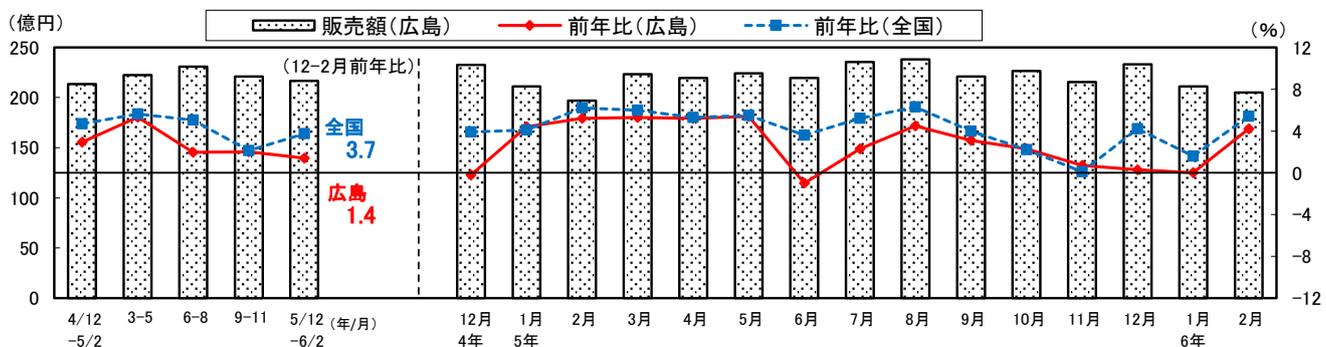
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(2) スーパー販売額(全店舗)



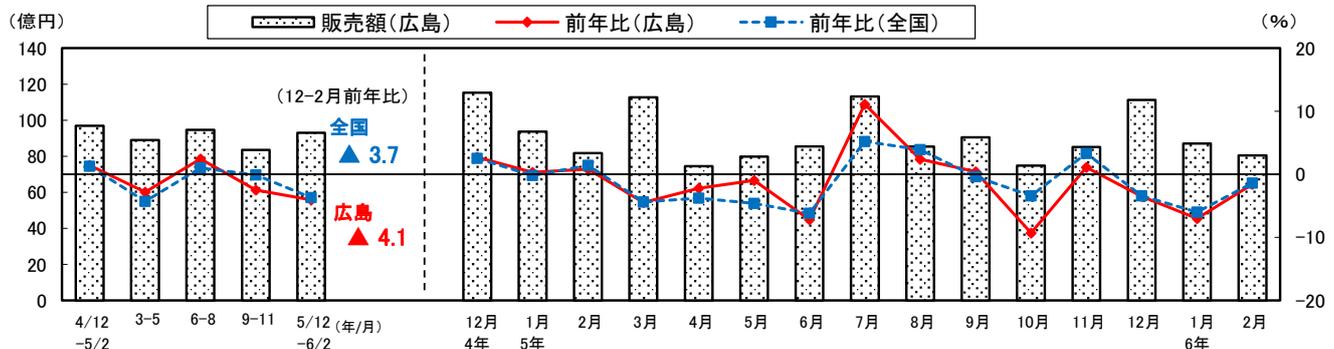
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



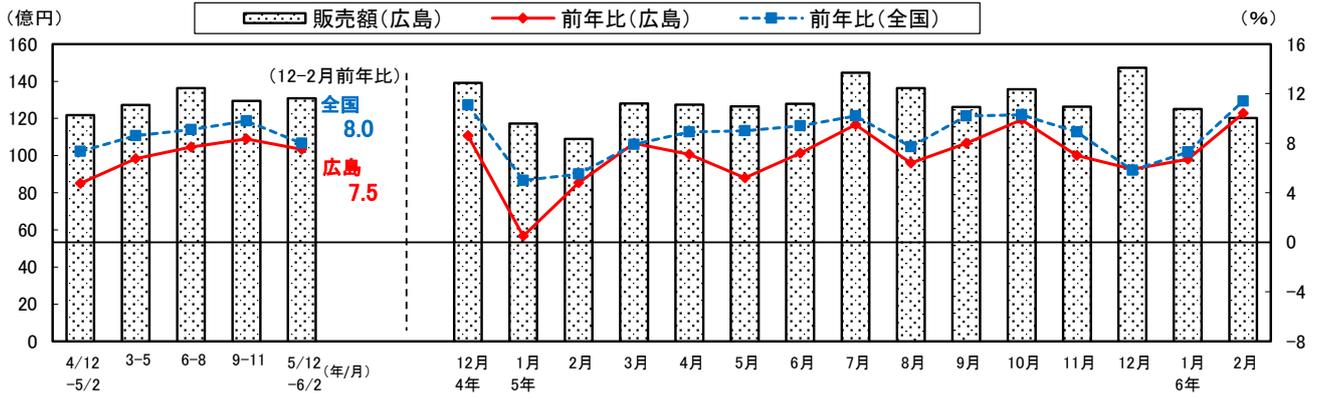
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



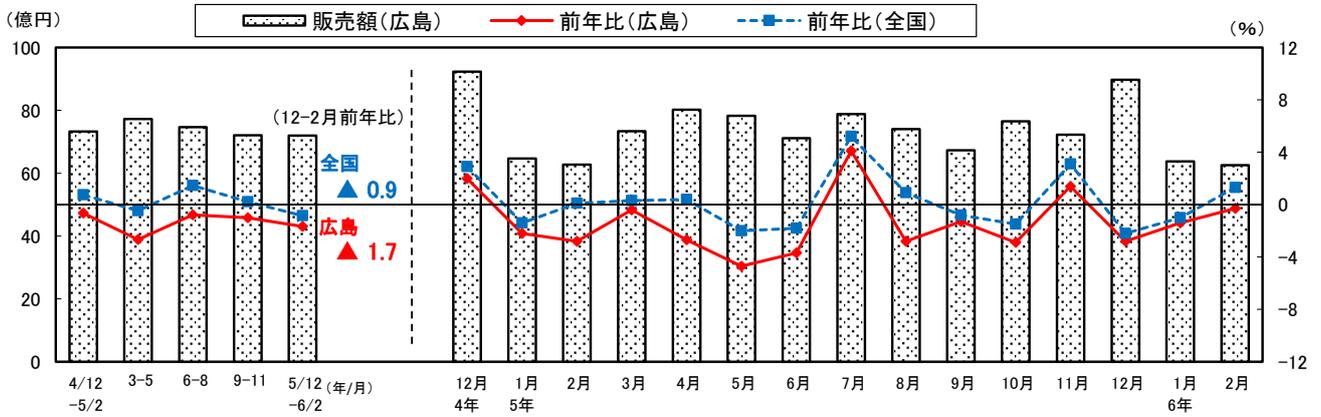
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



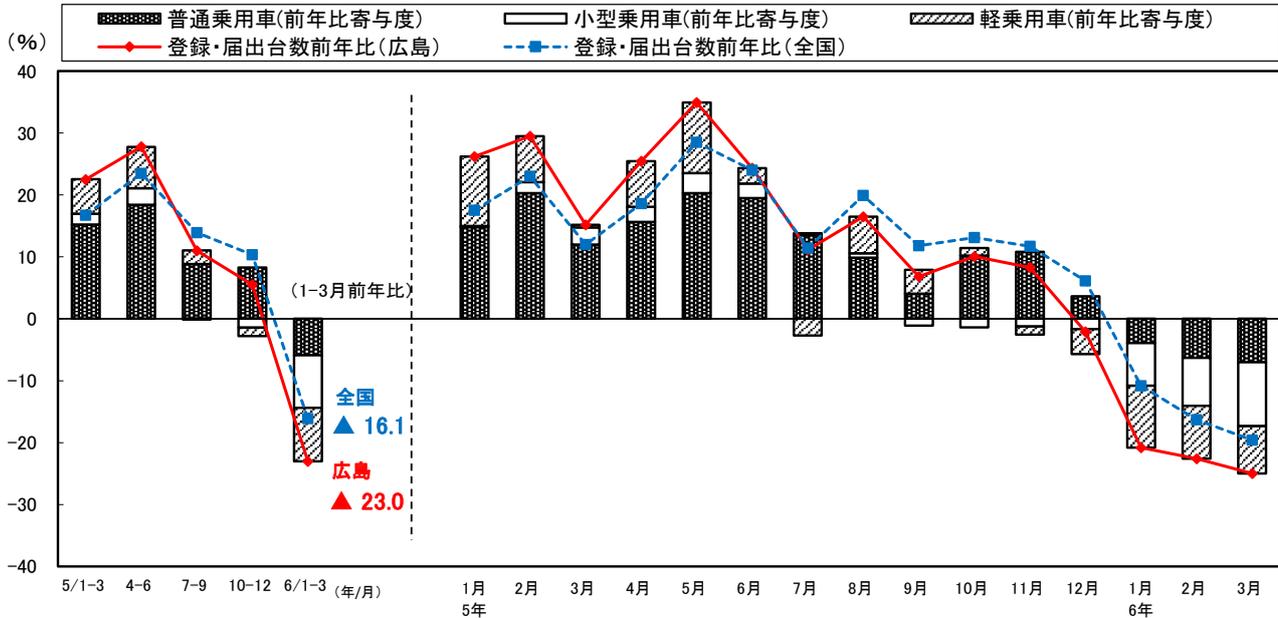
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

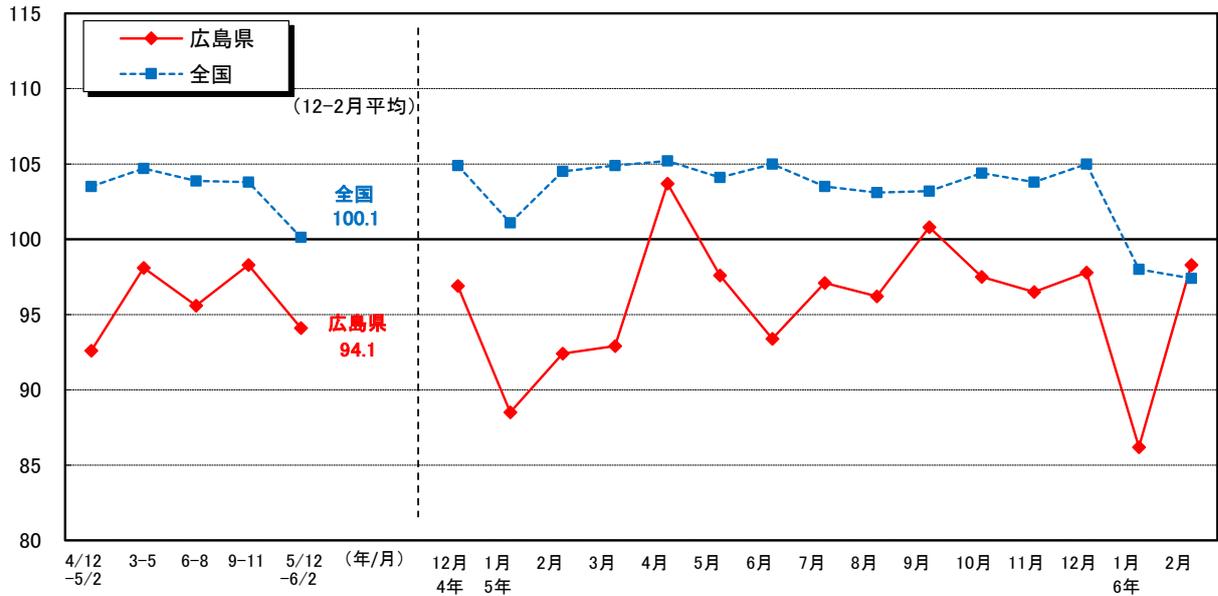


(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

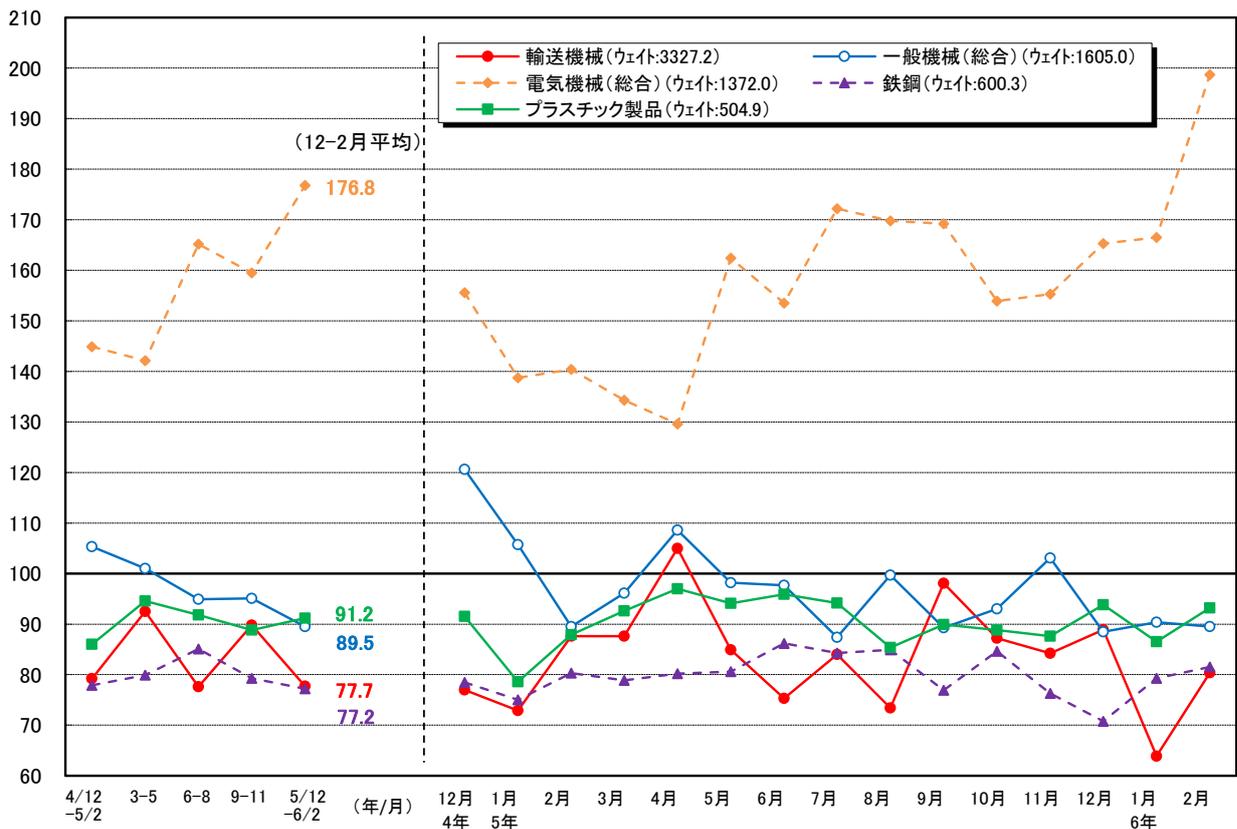
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

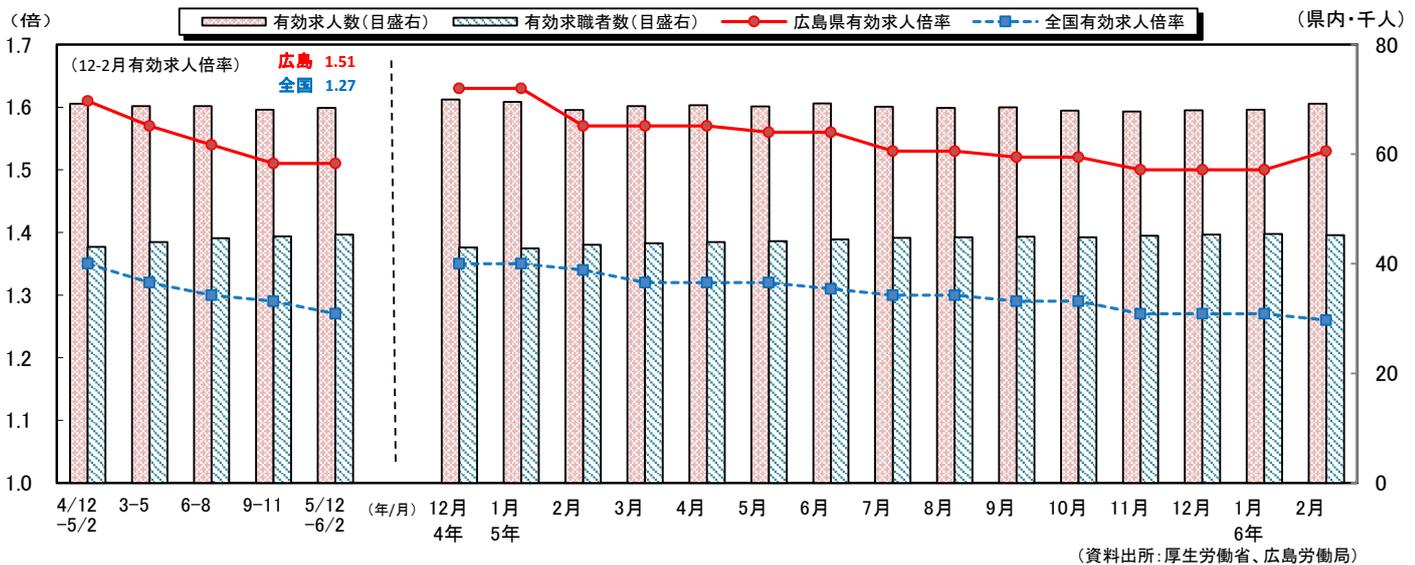


(資料出所: 広島県)

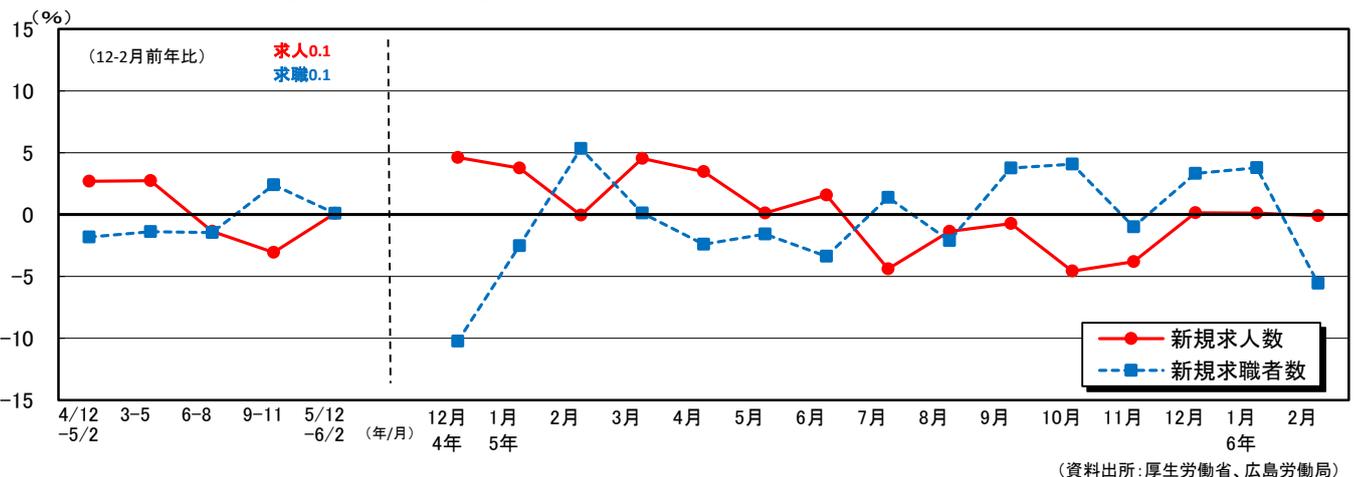
3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

(1) 有効求人倍率、有効求人・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注)(1)のグラフの3か月毎の有効求人倍率と有効求職者数は、1月あたりの平均。

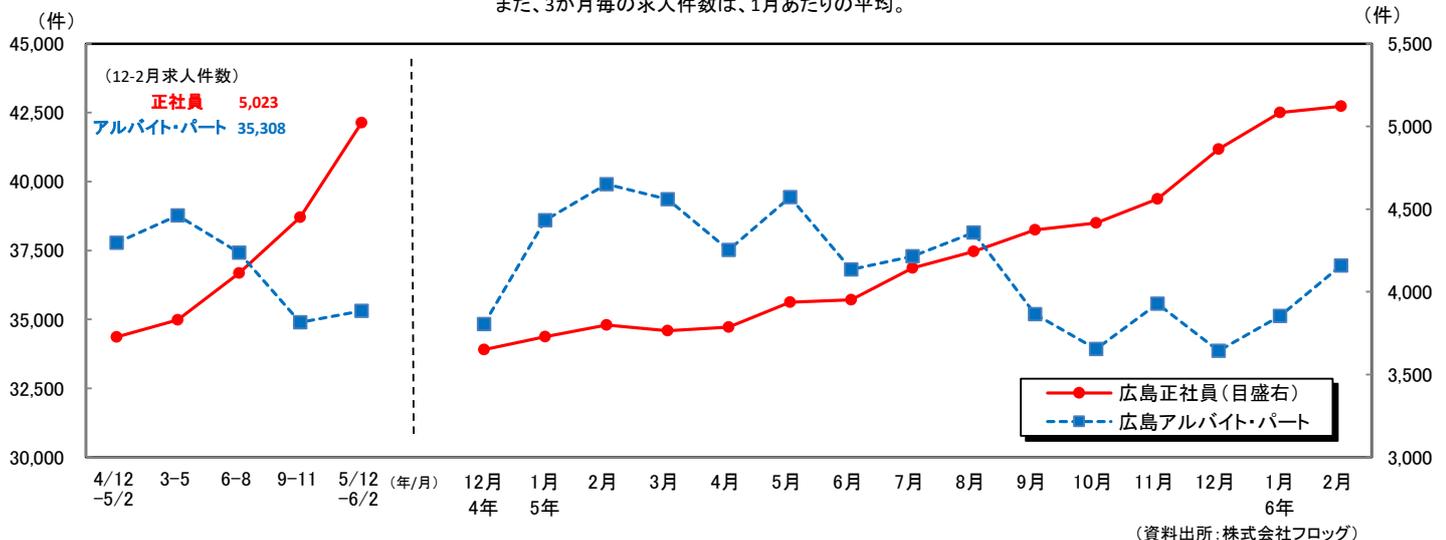


(2) 県内新規求人・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



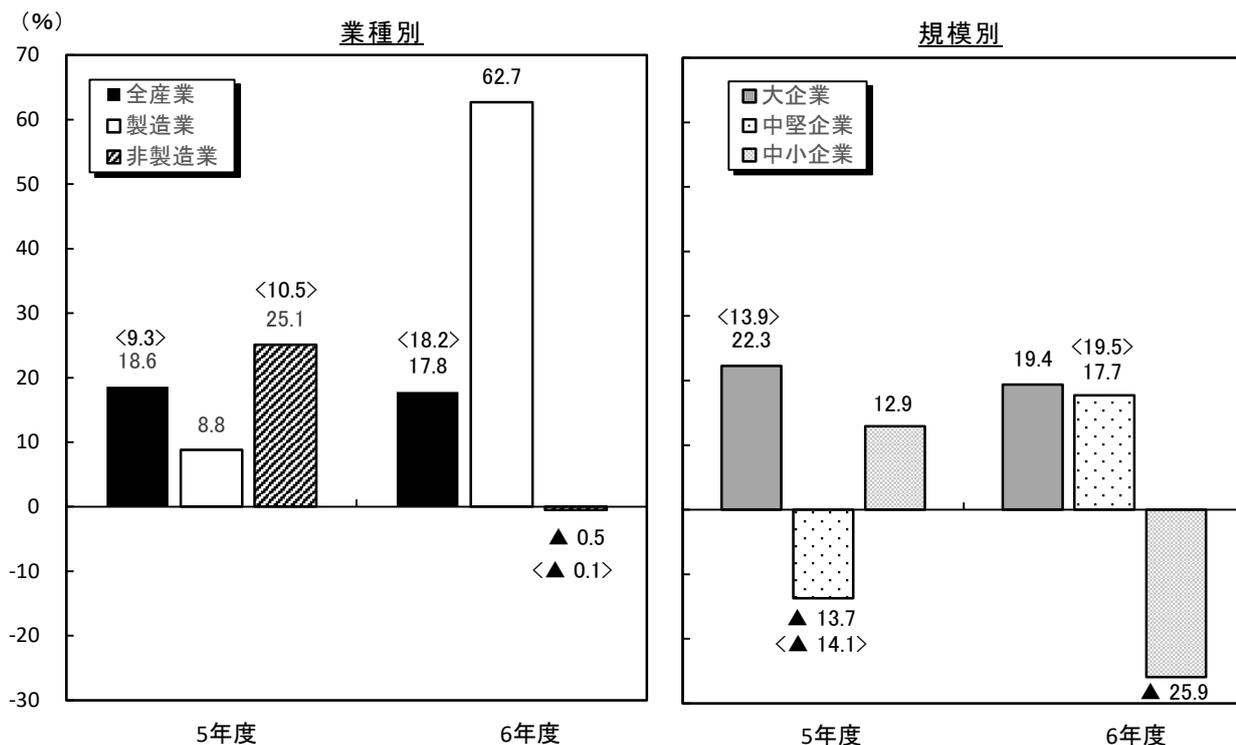
(3) 民間職業紹介における求人件数の推移

(注)(3)のグラフの各月求人件数は、毎月最終週時点の件数。また、3か月毎の求人件数は、1月あたりの平均。



4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

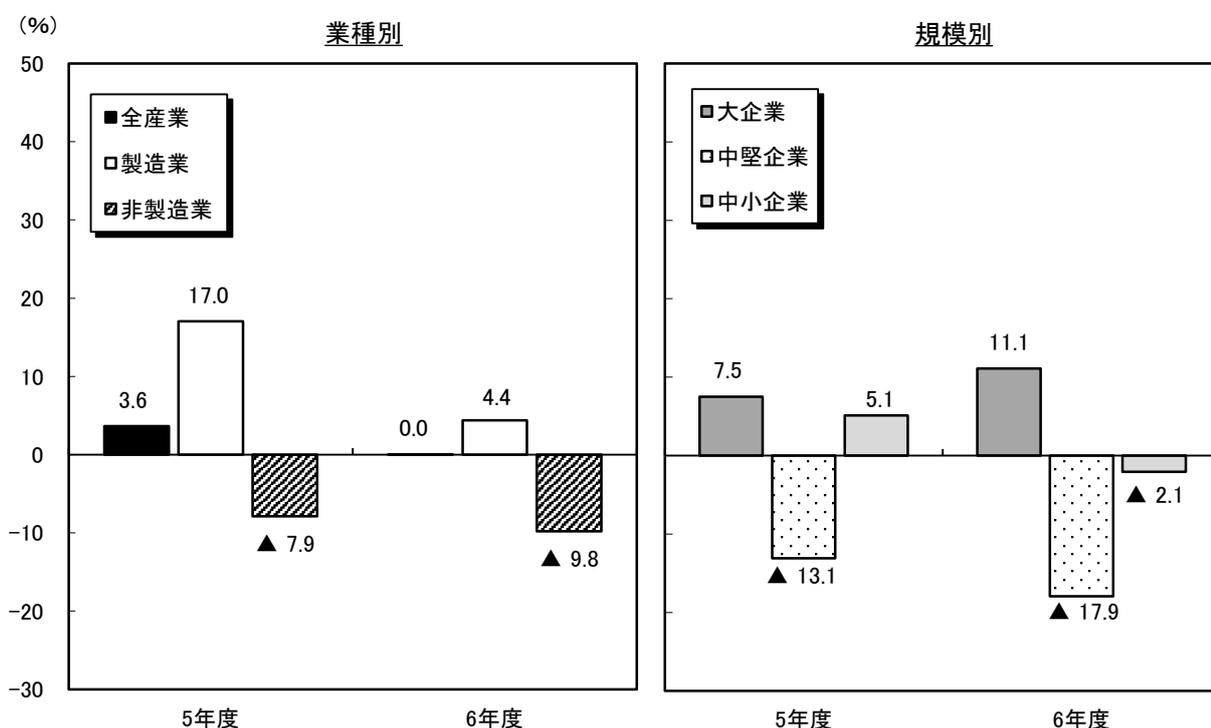


〈 〉書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 5年度は増益見込み

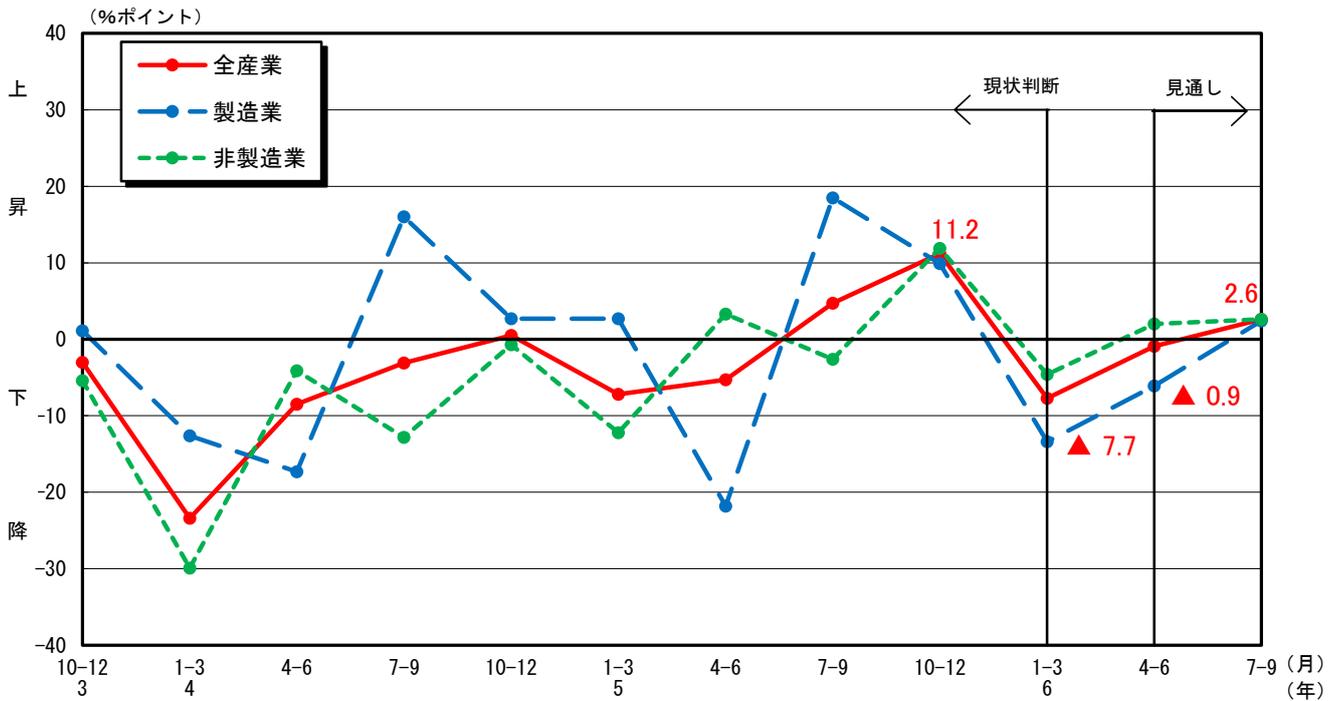
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感 「下降」超に転じている

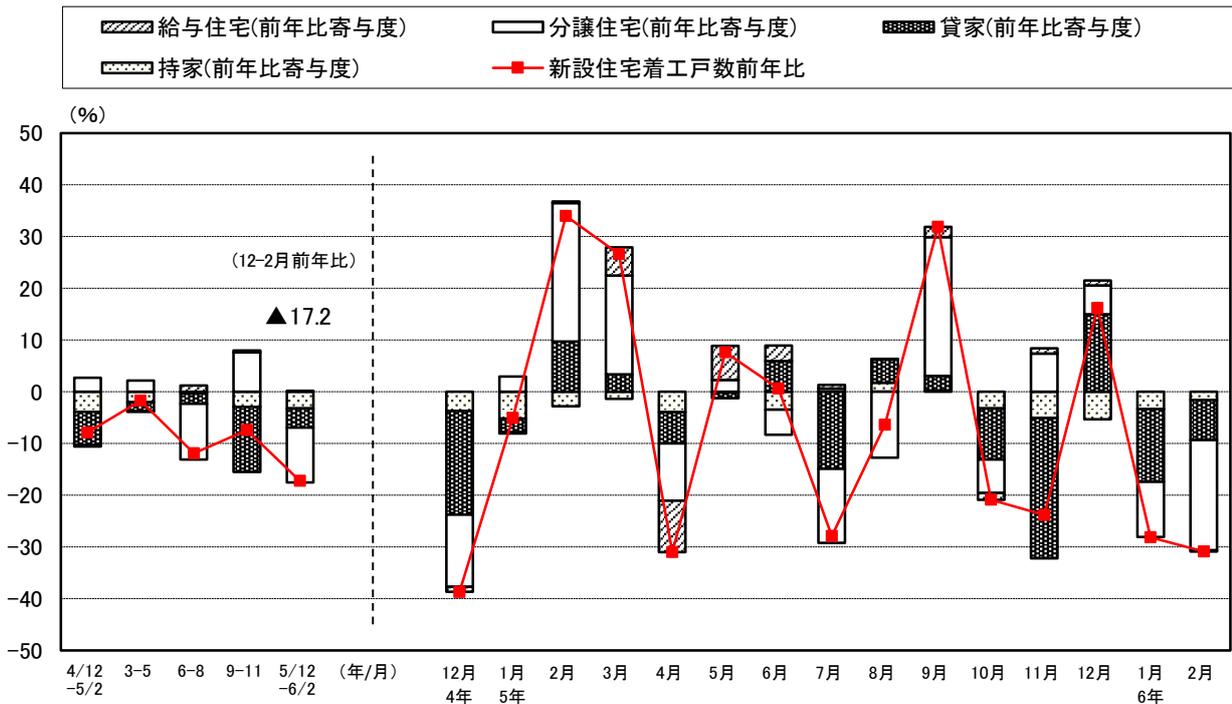
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を下回る

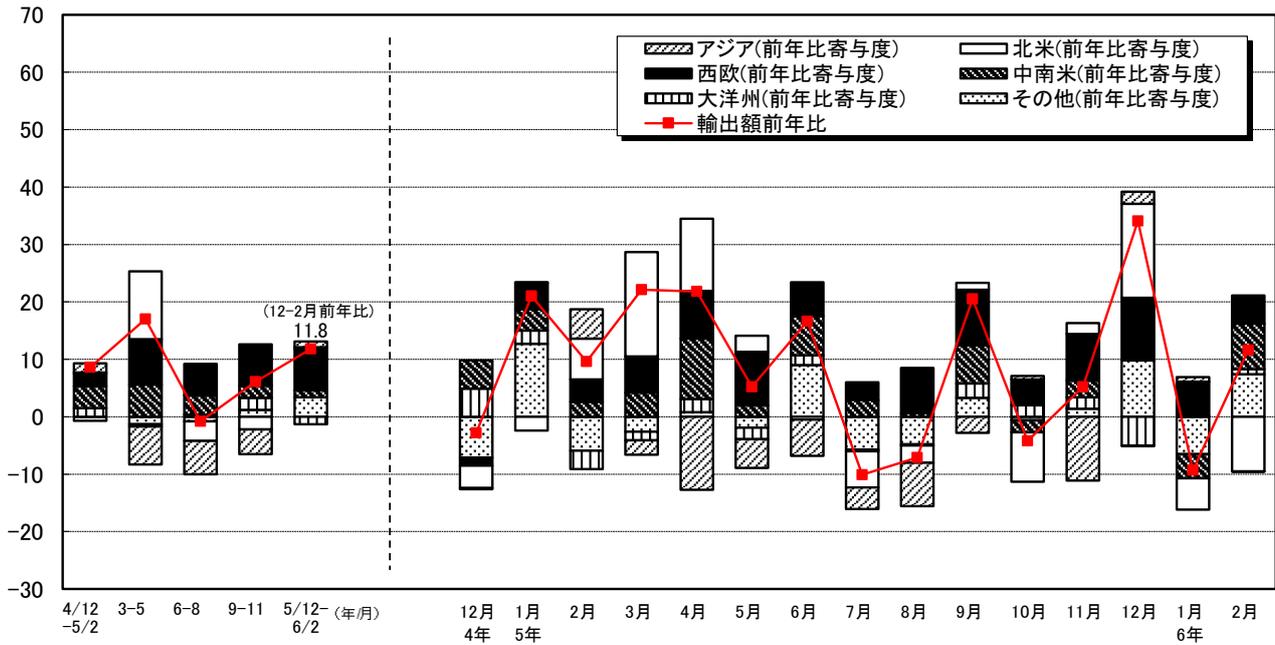
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を上回る

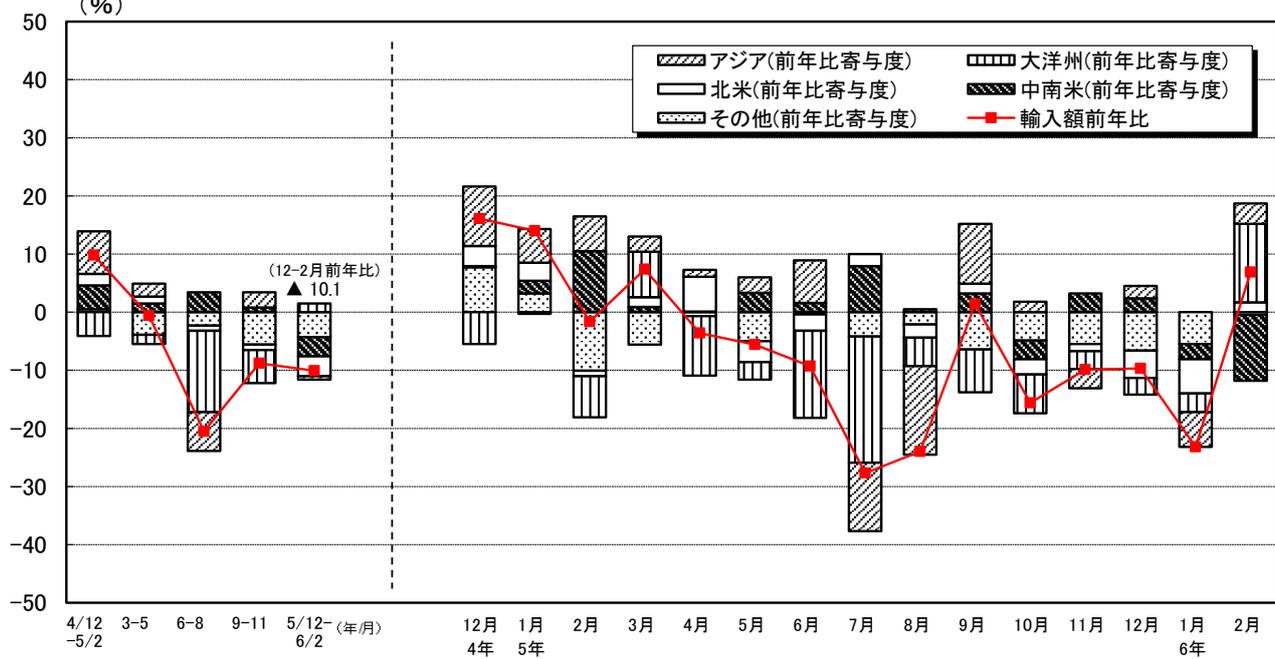
輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)